

授業科目

解剖学実習

担当教員名 澤田 純明、山口 康昭	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

授業の概要

1. 交連骨格模型および分離骨模型を用いて、人体の骨格系を理解する。
2. 頭頸部の模型を用いて、頭部、特に聴覚器官と発声器官の立体的な理解を深める。
3. 光学顕微鏡を用いて人体器官の組織切片を観察・スケッチし、人体を構成する諸器官のミクロ構造を理解する。

授業の目的

人体標本・模型標本を用いた実習を通して、人体の基本構造を理解し、言語聴覚士に必要とされる解剖学基礎知識を習得することを目的とする。

学習目標

1. 全身、特に頭部の個々の骨の形態と構造を理解し、部位と名称を説明できる。
2. 聴覚器官および発声器官の構成を理解する。
3. 人体器官のミクロ構造を理解し、その組織学的特徴を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、骨学実習（交連骨格と全身の分離骨を用いた実習）	実習	澤田 純明 他
2	骨学実習（頭骨模型を用いた実習）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
3	骨学実習（頭骨模型および頭部の分離骨模型を用いた実習）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
4	骨学実習（全身の分離骨を用いた実習1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
5	骨学実習（全身の分離骨を用いた実習2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
6	喉頭模型実習1	実習、レポート作成	澤田 純明 他
7	喉頭模型実習2	実習、レポート作成	澤田 純明 他
8	平衡聴覚器模型実習1	実習、レポート作成	澤田 純明 他
9	平衡聴覚器模型実習2	実習、レポート作成	澤田 純明 他
10	組織学実習（顕微鏡の使用法、上皮組織1）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
11	組織学実習（上皮組織2）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
12	組織学実習（骨組織）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
13	組織学実習（神経組織）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
14	組織学実習（喉頭）	実習、レポート作成	澤田 純明 他
15	組織学実習（平衡聴覚器）	実習、レポート作成	澤田 純明 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	授業プリントを配布					

評価方法

実習のレポート（30点満点）および期末試験（70点満点）の合計（100点満点）により成績を評価する。

履修上の留意点

実習室では白衣の着用を義務づける。スケッチブックと色鉛筆を準備すること（初回のオリエンテーションで説明する）。実習時間内にレポート作成を課すため、毎回の出席と積極的な実習参加を必要とする。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー
月曜12:00~14:00、火・水・木曜12:10~13:10
連絡先
澤田純明 研究室 GA401 メール junmei-sawada@nuhw.ac.jp